

災害時の新型コロナウイルス感染症対策

自宅などの災害リスクは



「避難」とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。これからのシーズンは特に風水害などの災害リスクが高まるので、ご自身のいる場所から避難する必要がありますのか、敦賀市のハザードマップで確認しましょう。

※各種ハザードマップは、市HPに掲載しています。



- ▼洪水ハザードマップ
- ▼土砂災害ハザードマップ
- ▼津波ハザードマップ

非常用持ち出し品などの確認



マスク、体温計、消毒液、石鹸、ウェットティッシュ、オーラルケア用品（うがい薬等）

避難所へ持参する物を事前に確認し、準備しておきましょう。一般災害時の持ち出し品に、感染症対策の物品を追加する必要があります。

一般災害時の持ち出し品は敦賀市防災ハンドブックをご参照ください。

避難する際は、体温計で熱を測るなどご自身の体調を確認しましょう。発熱などの症状がある方は、避難所に入ることができない場合があります。事前に二州健康福祉センターへご相談ください。
(☎22・3735、22・3747)

避難所内での過ごし方

- ▼避難所担当職員の指示に従い検温を行い、健康状態を申告する
- ▼手洗い、咳エチケットなど基本的な感染予防の励行
- ▼3密を避けるため、極力人と人との間隔を空け、定期的に換気を行う



※避難所内で発熱や体調不良などの症状が出た場合には、避難所担当職員に早めにお申し出ください。

現在、世界中で恐れられている新型コロナウイルスの第2波…。これから訪れる梅雨前線や台風などの影響により、風水害が発生した場合、または地震その他の災害が発生した場合には、避難が必要な方のために避難所を開設します。しかし、避難所は3密（密閉・密集・密接）の条件が揃ってしまうことから、これらの感染リスクを避ける対策が必要になります。この機会に、自宅周辺の災害リスクを把握し、より感染リスクの少ない避難行動をとりましょう。

警戒レベルを用いた避難情報

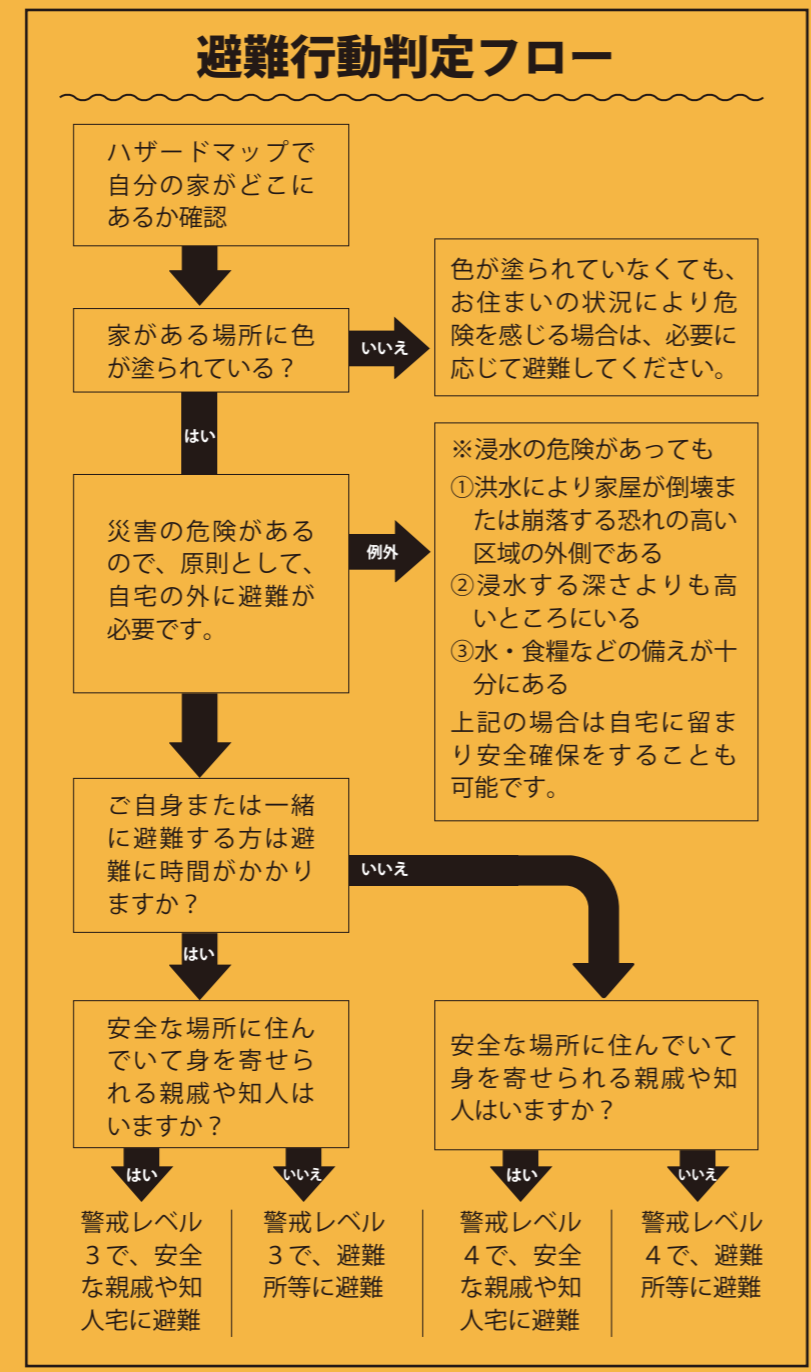
警戒レベル	とるべき行動(避難行動)	避難情報など
1	災害への心構えを高める	早期注意情報(気象庁が発表)
2	避難行動を確認	洪水注意報・大雨注意報など(気象庁が発表)
3	危険な場所から高齢者等は避難	避難準備・高齢者等避難開始
4	危険な場所から全員避難	避難勧告 避難指示(緊急)
5	すでに災害発生。命を守るための最善の行動を	災害発生情報



避難所以外に安全な場所は

災害時の避難行動は、避難所へ行くことだけではありません。水害などの場合に、頑丈で高い建物の上層階へ移動し、安全を確保する屋内避難（垂直避難）、より安全な地域の親戚や友人の家への立ち退き避難（水平避難）などが挙げられます。避難所へ行くこと以外の選択肢を考え、災害時に冷静な判断を行うことができるよう備えておきましょう。

あなたのとるべき避難行動は？



問合せ先 危機管理対策課 ☎22-8166